



FUKUOKA

TRIATHLON 2023



JAPAN
TRIATHLON

AGE GROUP

NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

ATHLETES GUIDE

CONTENTS

- 003 開催概要
- 004 当日スケジュール
- 005 コースマップ
 - 競技コース全域 MAP
- 006 SWIM コース MAP
- 007 トランジションエリア MAP
- 008 バイクラック詳細
- 009 合流・分岐・フィニッシュ後
- 010 BIKE コース MAP
- 011 RUN コース MAP
- 012 競技配布物
- 014 再発行・QR コード
- 015 大会前日までに
 - 準備しておくべきこと
- 016 競技規則
- 022 選手ナビゲーション
- 023 当日
- 024 受付・駐車場ほか
- 025 危険ポイント案内
- 026 駐車場案内
- 027 スタートリスト
- 031 SPONSER



 **JAPAN**
TRIATHLON

AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES



開催趣旨

2017年に初めて開催された福岡トライアスロンは、「産・学・官」と地域社会を結びつけることを主たる使命とし、地域の皆様のご協力の下に開催することができました。2019年では、ノーマライゼーションを掲げて、パラボランティアとともに「パラプロジェクト」を新たに立ち上げました。今後も、大会を継続的に開催することで、地域社会の新興や競技の普及の一助となっていくことを望んでいます。そして、【誰もが住み慣れた地域で心身ともに健康で自分らし暮らしを、 「ひと」も「まち」も幸せになれる福岡】づくりに寄与し、全ての人が平等である社会の実現を目指します。

開催概要

大会名称	福岡トライアスロン2023 2023JTUTトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ
開催期日	2023年6月25日(日) 7:30~13:30 ※開会式~閉会式終了まで
開催地	福岡県福岡市東区志賀島一带 (大会本部:志賀公民館)
競技内容	【スタンダードディスタンス:51.5km】 スイム:1.5km / バイク:40km / ラン:10km ※スイム:750m×2周回/バイク:志賀島×4周回/ラン:2km×5周回
記録・計測	ネオシステム
主催	福岡トライアスロン組織委員会(構成団体:SDF、福岡県トライアスロン連合、日本トライアスロン連合)
共催	TNC テレビ西日本
主管	福岡県トライアスロン連合
後援	福岡市、在福岡米国領事館、台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処、福岡商工会議所、九州経済連合会、博多21の会、福岡青年会議所、福岡県中小企業経営者協会連合会、アビスパ福岡、福岡県専修学校各種学校協会、NPO法人福岡市障害者関係団体協議会、一般社団法人福岡SUNS、ライジングゼファーフクオカ株式会社
協力	福岡みらい病院、九州産業大学、志賀商工会、西戸崎校区自治協議会、志賀島自治連合会、志賀島海の中道サイクルツーリズム協議会、社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会、全国柔整鍼灸協同組合
協賛	PARKOUR SCHOOL、九州電力、QTnet、福岡みらい病院、サニクリーン九州、ふくや、九州産業大学、アパマンショップ、ティーアンドエス、トヨタレンタリース福岡、米田建築工房、にしけい、福岡ロジテム、福岡地所、新日本製菓、九電工、松本組、セイコーメディカルプレーン、ヴェントゥーノ、ビジネスリファイン、福岡外語専門学校、アイ広告社、アサヒ飲料、アストンマーティン、三好不動産、コリンジャパン、リベラルアーツ、クリスマスマーケット、ミカサ、増田石油、はたなか、博多の森不動産、オーレック、廣田商事、野間薬局、福岡クリーン産業、イシカワ、松山建設、トライアンド、丸松セム、福岡リゾート&スポーツ専門学校、未来図建設、ファインロジテック、あおやぎ、篠原公認会計士事務所、大村美容ファッション専門学校、博運社、にしで歯科医院、ホームランシステムズ、CASE、山本設備工業、ヤマカワ装飾、シーサイドリアルエステート、三和シャッター工業、ミツヤマ電気、有澤建設、中村学園大学、三角整骨院、佐藤株式会社、トクスイコーポレーション、カンサイホールディングス、西日本シティ銀行、西日本鉄道、DIC学園、河野産業、エム・ティ・エスひかり、九州旅客鉄道、九州自動車リース、五光建設、Cytix、西部ガス、平井スポーツ建設、福岡銀行、エムアイディ、朝日自動車、九州風雲堂、夢源、久原本家、s大賀薬局、スリーアール、インサイドアウト、ピエトロ、味の素
オフィシャル サプライヤー	アサヒ飲料、新日本製菓、花屋ひより、食堂なぶら、勝山商店、はたなか、南国フルーツ、まさごや、シャワー
メカニック サポート	イワイスポーツサイクル、サイ克兰ドシライシ、正屋
スペシャル サンクス	ガーデンズ千早、テレビ西日本、海の家「きばらし」「丸良」「福助」

6月25日(日) 大会当日

時間	内容	場所
05:00～06:30	大会会場入り	A・B・C：選手向け駐車場エリア
05:30～07:00	受付	志賀公民館
05:30～	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア(志賀島海水浴場)
05:30～	トランジション オープン	トランジションエリア(志賀島漁港駐車場)
～07:20	トランジション クローズ	トランジションエリア(志賀島漁港駐車場)
06:40～07:20	アンクルバンド受渡し	スイムエリア 計測テント付近
06:40～07:20	試泳	スイムエリア(志賀島海水浴場)
06:45～07:25	入水チェック	スイムエリア(志賀島海水浴場) ※スイムエリア計測地点
07:30～	交通規制開始	志賀島外周道路
07:30～	開会式	
07:45～07:49	レーススタート	スイムエリア(志賀島海水浴場)
08:30	スイムスキップリスタート	
08:39	スイム制限時刻	スイムエリア/スイムフィニッシュ計測地点
08:55	バイクスタート制限時間	トランジションエリア/バイクスタート計測地点
10:20	バイク制限時間	志賀島入口計測地点
～11:00	交通規制解除	志賀島外周道路
12:19	ラン制限時間	フィニッシュゲート(志賀島漁港) ※最終スタート後4時間30分後
12:25	表彰・閉会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)

注意

※本大会では事前の競技説明会は行いません。こちらの「ATHLETES GUIDE」が競技説明会の代わりになるものですので、熟読し内容を把握した上で大会に臨んでください。

※後日、Googleフォームを使った「健康チェック&競技規則確認シート」を配信します。必ず大会前日【6月24日(土)16:00まで】までに回答するようにしてください。

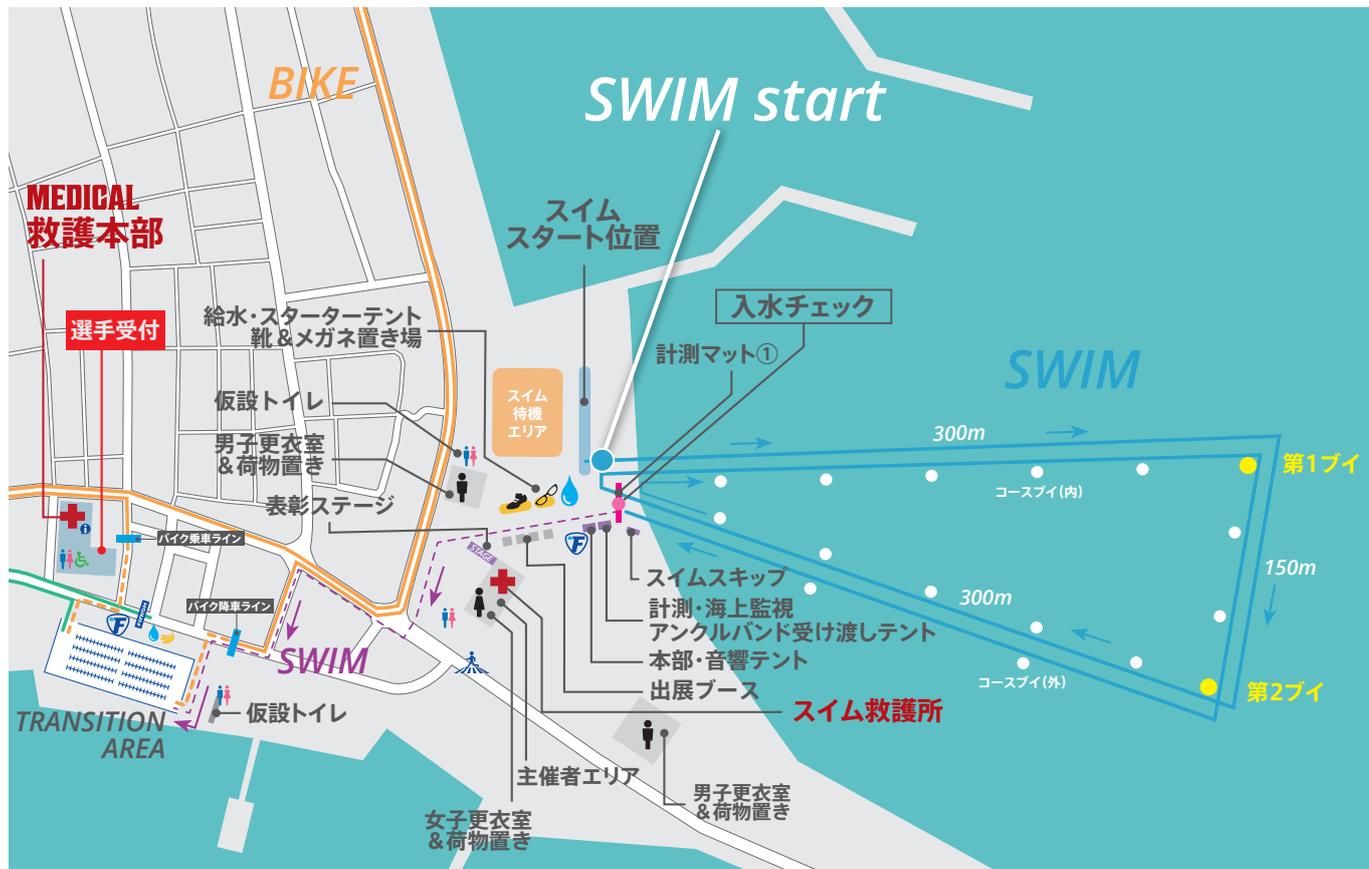
<回答がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。>

※6/25(日)はコース及び会場周辺で交通規制が実施されます(7:30～11:00)。時間に余裕を持ってお越しください。(車でお越しの方は、希望者に事前郵送される「駐車証」を忘れないようにしてください。)

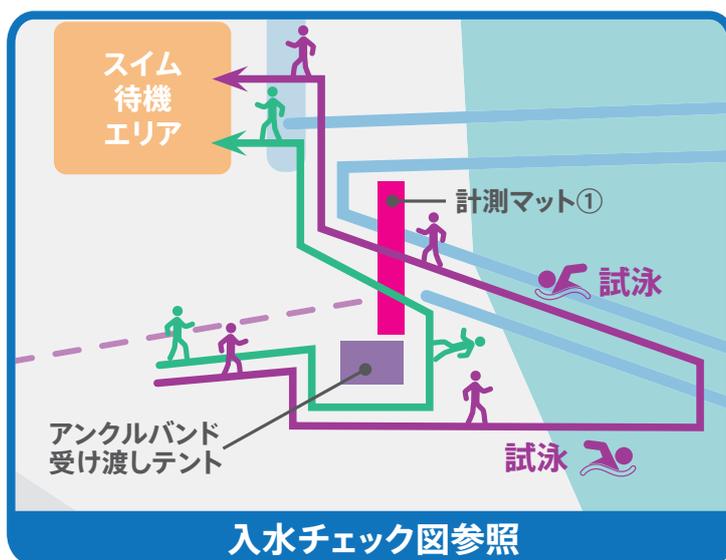
競技コース全域 MAP



SWIM コース：1.5km 志賀島海水浴場 750m × 2周回



- スイムエリアに入ったら
アンクルバンドを受け取り装着してください。
- アンクルバンドを装着したら試泳を行い、
計測マット①を通過（入水チェック）してから
スイム待機エリアに進んでください。
- スイム待機エリアからは出ないようにしてください。
- スイムスタート時間：7時45分～
- スタート方式はウェーブスタートとします。
1ウェーブ80名が1分間隔でスタートします。
- スイムキャップカラー
赤→青→白→ピンク→緑の順にスタートします。
- スタート前には、次のウェーブの
スイムキャップカラーをアナウンスし、
カラーを示したプラカードを掲げます。
ご自身のウェーブを間違えないよう
注意して待機するようにしてください。
- 第2ブイを通過したあとは、コーススイ（内）と
コーススイ（外）の間を通過して計測マット①を
目指してください

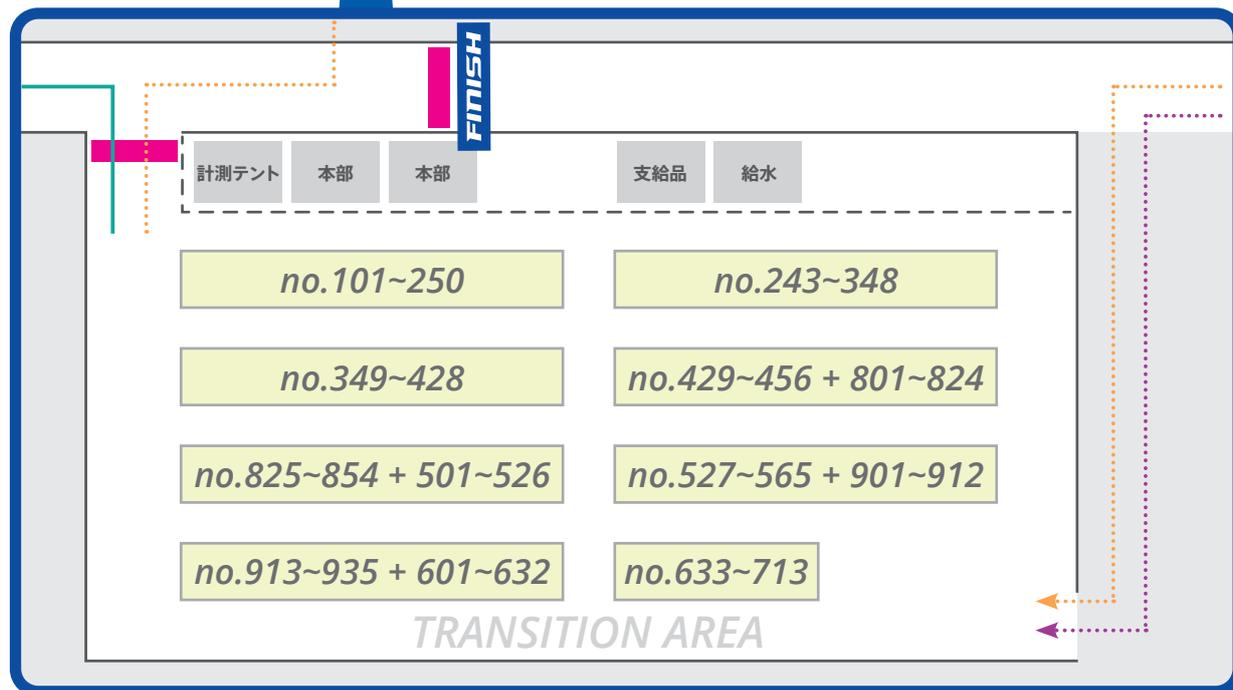


- 試泳あり →
- 試泳なし →

トランジションエリア



バイクラックの詳細は次のページで



TRANSITION AREA

偶数 奇数

914	913
915	915
916	917
918	919
920	921
922	923
924	925
926	927
928	929
930	931
932	933
934	935
602	601
604	603
606	605
608	607
610	609
612	611
614	613
616	615
618	617
620	619
622	621
624	623
626	625
628	627
630	629
632	631

偶数 奇数

826	825
828	827
830	829
832	831
834	833
836	835
838	837
840	839
842	841
844	843
846	845
848	847
850	849
852	851
854	853
502	501
504	503
506	505
508	507
510	509
512	511
514	513
516	515
518	517
520	519
522	521
524	523
526	525

偶数 奇数

350	349
352	351
354	353
356	355
358	357
360	359
362	361
364	363
366	365
368	367
370	369
372	371
374	373
376	375
402	401
404	403
406	405
408	407
410	409
412	411
414	413
416	415
418	417
420	419
422	421
424	423
426	425
428	427

偶数 奇数

102	101
104	103
106	105
202	201
204	203
206	205
208	207
210	209
212	211
214	213
216	215
218	217
220	219
222	221
224	223
226	225
228	227
230	229
232	231
234	233
236	235
238	237
240	239
242	241
244	243
246	245
248	247
250	249

偶数 奇数

634	633
636	635
638	637
640	639
642	641
644	643
702	701
704	703
706	705
708	707
710	709
712	711
	713

偶数 奇数

528	527
530	529
532	531
534	533
536	535
538	537
540	539
542	541
544	543
546	545
548	547
550	549
552	551
554	553
556	555
558	557
560	559
562	561
564	563
	565
902	901
904	903
906	905
908	907
910	909
912	911

偶数 奇数

430	429
432	431
434	433
436	435
438	437
440	439
442	441
444	443
446	445
448	447
450	449
452	451
454	453
456	455
802	801
804	803
806	805
808	807
810	809
812	811
814	813
816	815
818	817
820	819
822	821
824	823

偶数 奇数

252	251
254	253
302	301
304	303
306	305
308	307
310	309
312	311
314	313
316	315
318	317
320	319
322	321
324	323
326	325
328	327
330	329
332	331
334	333
336	335
338	337
340	339
342	341
344	343
346	345
348	347

計測

本部

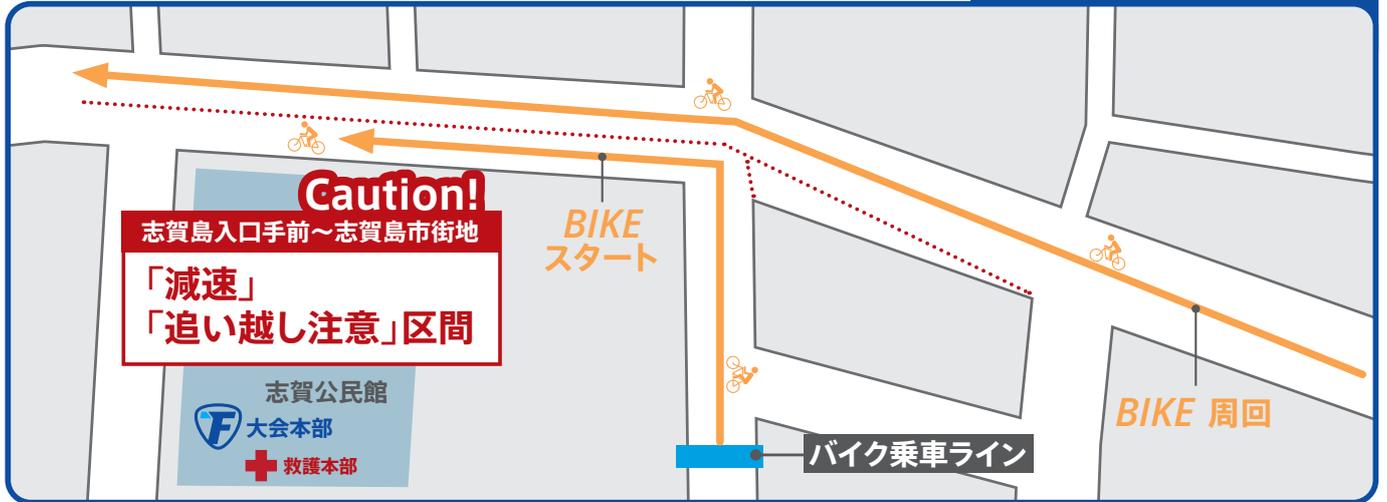
本部

FINISH

支給品

給水

バイク合流点【志賀公民館前】



バイク分岐点【志賀島入口】



フィニッシュ後



BIKE コース : 40km 志賀島外周道路 (※①を起点に時計回りに4周回)



RUN コース：10km 志賀島漁港特設コース 2km × 5 周回



【スイム中止時のバイクスタート方法】

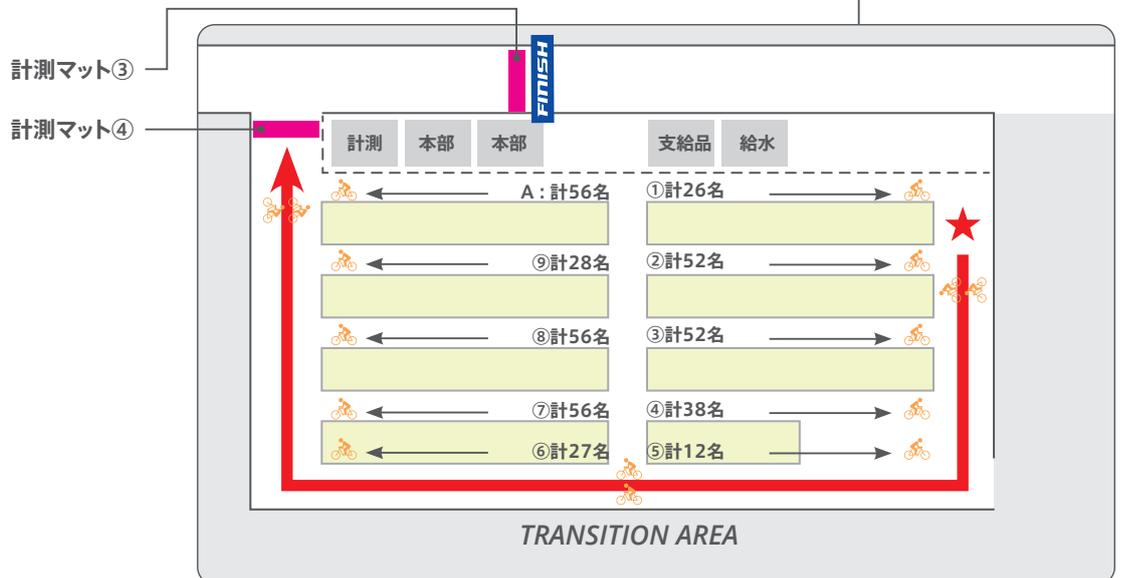
【スタート前】

ラック A 全員 + 通路①の選手(計 82 名)が★地点まで赤矢印に沿って横 2 名ずつで並んでいく。

【スタート後】

・スタート開始から列が前進するので、通路②の選手から黒矢印の方向で最後尾に加わっていく。

②の次は③、以降④⑤⑥⑦⑧⑨の順に最後尾に加わるようにする。



① 出場許可証



- レースナンバーが明示されています。
- 受付時に必要となるため必ず持参してください。

② レースナンバーカード × 2 枚

- レースナンバーはバイクでは後方に、ランでは前面に来るようにしてください。※レースナンバーベルト着用推奨
- レースナンバーの裏面に、**レース当日の緊急時連絡先**を必ず記入してください。（本人以外の連絡先）

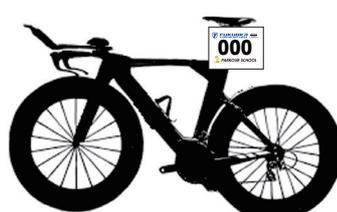


③ レースナンバーシール × 3 種類（ヘルメット、バイク、トランジションバッグ）

- レースナンバーが記載されたシールです。
トランジションエリアへ入る前までに必ず貼り付けてください。

【貼り付け箇所】

- 1、ヘルメットの正面
- 2、バイクの左側からレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。
※正しい位置に貼り付けられているか、トランジションエリアの入口で審判がチェックを行います。
- 3、トランジションレースナンバーシール
トランジションバッグに荷物を入れ、袋にレースナンバーシールを貼り、荷物を預けてください。
(スイム会場にある「海の家」が更衣室兼荷物の預かり場所となります)



④ ボディナンバーシール × 2 枚

- 本大会では、「ボディナンバーシール」を用います。（できるだけ、自宅・宿舎を出る前に貼っておきましょう。）
- 「ボディナンバーシール」は両腕の見える位置に貼ってください。



⑤ スイムキャップ × 1 枚

- エントリー時にいただいたスイムの申告タイム順に赤・青・白・ピンク・緑の5グループに色分けしています。色によってスタート時間が異なりますのでご自身の色を覚えておくようにしてください。



※写真のスイムキャップカラーはイメージです。

⑦ トランジションバッグ × 1 枚

- トランジションエリアには競技と直接関係ないものの持ち込みはできません。最後に着ていたウェアなどはトランジションバッグに入れスイム会場にある荷物置き場（海の家）に預けるようにしてください。

⑧ 駐車証

- 当日、対象となる駐車場入口で確認しますので、必ず持参してください。
- 駐車券のお渡しは、駐車場利用有無の確認時に「あり」と申告された方のみとなります。当日、急遽駐車場をご利用される場合は、付近の駐車場係員にご相談ください。



■ 当日お渡しするもの

① アンクルバンド

- 当日スイム会場計測地点付近にてお渡しします。計測に使用しますので、その場で装着するようにしてください。※アンクルバンド紛失の際は実費請求します（¥3,300）。
- アンクルバンドは装着したらフィニッシュまで取り外さないようにしてください。



② 参加記念 T シャツ

- 当日受付時に申込時に指定されたサイズをお渡しします。



③ フィニッシャータオル

- フィニッシュした後にお渡しします。



②③④の再発行について

②レースナンバー ③レースナンバーシール ④ボディナンバーシールを紛失された方は以下のとおり再発行いたします。(全て手書きでの発行となります。)

▶ **再発行日** 6月25日(日) 受付会場(志賀公民館)

▶ **再発行に必要な物**

●出場許可証 ●レースナンバー

上記がない場合 → ○免許証 ○保険証など ○身分が証明できるもの。

※本人確認を行います。必ず持参してください。 ※ボディナンバーシールは再発行いたしません。マジックでナンバーを両腕に記載します。 ※レースナンバー、レースナンバーシールの再発行は有料です。(¥500)

大会速報・完走証・公式HP / QRコード

大会速報

選手のポイント通過
やFINISHの時間を
リアルタイムで掲載!



完走証

自分のレースナンバー
を入力してweb記録証を
GETしよう!
(大会3日後の6/28からDL可能)



公式HP

大会の様子や
地元情報など、
最新情報を随時更新!



※完走証 (WEB 記録証) **ダウンロード期限**→ 2023.6/26sun12:00 ~ 2023.9/25mon23:59 まで

● **QRコード読み取りアプリで上記URLのQRを読み発行作業を行うとうまくダウンロードされないとき**
→ QR読み取りアプリを使用しますとブラウザが対応していないものがあります。カメラ機能から直接アクセスしてみてください。

● **記録証が表示されない時**
→基本的にダウンロードサービスとなります。端末の設定により表示されずにダウンロードフォルダへ保存される場合がありますのでこの場合は、自身のスマートフォンの設定をご確認ください。

健康管理

- 大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。
- 前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
- 主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行います。それ以上の責任は負いません。
- 安全管理上、審判員または医師・看護師・救護スタッフ・大会関係者がレース続行不可能と判断した場合は、競技者に対して競技を中止させることがあります。
- 選手の皆さまには、グーグルフォームを使った「健康チェック&競技規則確認シート」を配信します。必ず大会前日までに回答するようにしてください。【6月24日(土) 16:00まで】
※回答がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。

コース・ルール等競技内容のチェック

- あらかじめ、コース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置、周回数等を把握しておきましょう。
- レースに出場するための注意事項を事前に把握しておきましょう。

会場までのアクセスルート、時間の確認

- 大会当日、会場周辺は大変混雑が予想されます。交通規制もあります。
(志賀島外周/7:30~11:00 車両通行止め)
- お時間に十分余裕を持って会場にお越しください。受付時間に間に合わない場合は、出走できません。
- スタート前に選手受付、バイクチェックイン等を必ず行っていただきます。当日の流れを事前に把握してください。

	チェックリスト	チェック
スイム	キャップ	
	ゴーグル	
	ウエットスーツ	
	耳栓(任意)	
	はきもの(推奨)	
バイク	ヘルメット	
	レースナンバーベルト	
	バイクシューズ	
	サングラス(任意)	
	くつ下(任意)	
	足ふきタオル(任意)	
	サイクルボトル(2本推奨)	
	その他補給食	
	サイクルコンピューター	
	時計(任意)	
ラン	ランニングシューズ	
	レースナンバーベルト	
	帽子(任意)	

	チェックリスト	チェック
事前準備	健康保険証コピー	
	健康チェック&競技規則確認テスト(googleフォーム)	
	ナンバーシール/メット 正面	
	ナンバーシール/バイク 左	
	ボディナンバーシール(当日、トランジションに入る前までに貼っておく)	
あったら便利	パンク修理・工具	
	雨具カッパ	
	レスチューブ	
	帽子	
	サングラス	
	補給食	
MEMO	時計	

◆競技規則

- 01：本大会は、「公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）競技規則」、一部「国際トライアスロン連合（ワールドトライアスロン）競技規則」及び以下に定める「福岡トライアスロン競技規則」に従い競技を行う。
- 02：本大会競技規則に定めない事項、事象が生じた場合は、主催者または技術代表・審判長がその取扱いを決定する。
- 03：安全第一とし、気象条件、その他の条件等より、競技性及び安全が十分確保できないと主催者が判断した場合には、競技開始以前または競技中であっても、競技内容の変更または競技の中止を行うことができる。
- 04：選手及び随行者は、社会人・スポーツマンとして節度ある態度で本大会に参加する。違法駐車、一般車両・通行人への通行妨害、ゴミの投棄及び違法キャンプの禁止、バイク乗車時のヘルメット着用、夜間の騒音等に十分注意し、開催地の地域住民やボランティアとの調和を図る。
- 05：大会で定められた時間を遵守し、遅れる場合は事前に連絡する。連絡なき場合は失格となることもある。
- 06：選手は、大会規則及び道路交通法の定める交通規則とコースを十分に理解して参加する。コース離脱や交通違反に対する責任は選手個人が負う。
- 07：選手は予め配信される「健康チェック&競技規則確認シート」に回答しなければならない。
- 08：酒気帯びや体調不良の状態での競技をすることはできない。酒気帯びの恐れのある選手に対しては呼気検査を求められることがあり、検査の結果、アルコール分が検出されれば競技に参加できない。
- 09：選手は、規則で定められたウェア、競技用具を使用しなければならない。
- 10：前ファスナー付のレースウェアは使用可能。ただし、前ファスナーの長さは40cm以内とする。前ファスナーは、胸骨の端（みぞおち）まで下ろすことができるが、フィニッシュ前200mは上げることとする。また、競技中に限らず、屋外での更衣や、上半身裸のまま移動することを禁止する。
- 11：シューズを履かずに裸足のままバイクやラン競技を行うことは禁止とする。バイクシューズは専用のものでなくても構わない。
- 12：仮装は認めない。
- 13：レースナンバーは、バイクでは背面、ランでは前面に取付け、めくれあがらないように取り付けること。折り曲げや変造は禁止する。またレースナンバーベルトの使用を推奨する。
- 14：レースナンバーの裏面に、レース当日の緊急連絡先を必ず記入すること。（本人以外の連絡先）
- 15：大会期間中、指定場所以外での物（ゴミ、ボトル、競技用品を問わず）の投棄を禁止する。投棄した場合はペナルティを科せられる場合がある。
- 16：制限時間及び閉門時間を設ける（※詳細は「◆制限時間」参照）。各制限時間・閉門に通過できなかった選手はDNF（Do Not Finish）となる。制限時間に関わらず競技続行が困難、競技運営に著しく支障があると主催者及び審判員が判断した場合、その選手に対してDNFを宣告する。DNF及び自主リタイア選手は審判員に申告し、アンクルバンドを返却する。その後の行動は審判員の指示に従うこと。
- 17：フィニッシュ地点以外でのアンクルバンドの返却は、必ず審判員であることを確認した上で、審判員に直接返却すること。
- 18：小型カメラ、携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーの使用は禁止する。ただし、スマートフォンは距離計測としての使用のみ認めるが、距離計測以外の使用は禁止する。使用した場合はペナルティの対象となることもある。
- 19：JTU競技規則、福岡トライアスロン競技規則及び、社会的マナーに反した選手は、審判員の裁量によりタイムペナルティを科せられる場合がある。ランコース上にペナルティボックスを設置するが、ペナルティ対象となる選手がペナルティボックスに入らなかった場合は失格とする

◆車検・バイクコース下見

- 01：本大会ではバイクの車検は行わない。競技用具の整備は選手各自の責任であり、著しい整備不良や規格違反と判断された場合、競技に参加できない場合がある。革新技術等の使用は、事前の了承を必要とする。
- 02：大会当日、トランジションエリア付近にバイクメカニックサービスを設置する。ただし、あくまで基本的な整備は済ませたものとし、簡易な整備のみの対応とする。※バイクメカニックサービス（¥1,000-/回）
- 03：大会当日、会場付近やバイクコースにおいて、バイクでのウォーミングアップ及び試走はできない。ラン及び徒歩によるバイクコース下見を推奨する。ラン及び徒歩による下見は歩道を使用し、交通ルールを順守して安全に注意すること。大会前日にバイクコース下見を行う際は、交通ルールを順守し、地域住民の生活や地域事業者の業務遂行の妨げにならないように節度を持って行うこと。

◆スイム競技

- 01：スイムでは、安全上の観点からウェットスーツの着用を義務とする。トライアスロン用又はスイム用のウェットスーツ（厚み 5mm以下）を必ず着用する。これに反した場合は競技に参加できないか失格とする場合がある。また、スイムスーツでのウェットスーツ代用は認めない。
- 02：ゴーグル（オープンウォーターのためクリアに近いレンズカラー推奨）・ノーズクリップ・耳栓・腕時計・心拍測定器の着用を認める。
- 03：スイムキャップを重ねて被ることは可能。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 04：ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの使用を認める。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 05：大会側でワセリンは用意しないので各自用意すること。
- 06：6：45～7：25の間に入水チェックを必ず行うこと。入水チェックはスイムエリアの計測マットを1回通過することで行う。スイムエリアに到着したらまずアンクルバンドを受け取り装着すること。その後、必要に応じて試泳を行い、入水チェックの後に待機に移ること。入水チェック後はスイムエリアから離れないようにすること。
- 07：スタートエリアでは必ずアンクルバンドを装着した状態であること。
- 08：水温に慣れるためにも、定められた時間帯で試泳することを推奨する。
- ・試泳をする場合
 - アンクルバンドを受け取り装着した状態で試泳を行い、入水チェックの後に待機に移ること。
 - ・試泳をしない場合
 - アンクルバンドを受け取り装着した状態で、入水チェックを行い待機エリアに移ること。
- 09：スタート方式はウェーブスタート（1ウェーブ80名、1分間隔）とする。
- 10：スイムからトランジションエリアに向かう動線上は一部砂利道が含まれるため、履物を履いて移動することを推奨する。
※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任のもと利用すること。
- 11：危険回避等でコースロープ、ブイ及び監視船等につかまって休息できるが、移動することはできない。
- 12：救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で大きく振り、声を出して救助を求める。
- 13：審判員以外のライフセーバー等が選手の安全のため競技を中止させることがある。
- 14：経験不足や泳力に自信がないことからスイム競技に不安を感じる場合は「スイムスキップ」を認める。ただし、スイムスタート前に申告する場合に限るものとする。スイムスキップをする選手は、7時30分までにスイム会場に配置された審判員にレースナンバーとスイムスキップの意思を伝えること。その後は、計測テント付近に設けた「スイムスキップリスタート位置」で待機する。
8時30分に一斉にリスタートしてトランジションエリアに向かう。
- 15：スイムスキップの場合、記録については「スイムスキップ」の表示で残るが、完走とはならない。また、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。※バイク競技以降の制限時間は「◆制限時間」と同じとする）
- 16：スイムリタイア者については、近くの審判員にレースナンバーとリタイアの意思を伝えた上で、アンクルバンドを返却すること。体調不良等によるリタイアの場合は、スイム救護所に向かいメディカルチームからの診察を受けること。

◆スイム競技中止時の対応

- 01：海上の状況により、スイムが中止になった場合は、バイク競技から行うこととする。
- 02：スタート時間は8：15～とする。スタート位置はトランジションエリア出口の計測マット（以下、「スタートの計測マット」と呼ぶ）とし、2名ずつ5秒間隔のローリングスタート方式とする。
- 03：スタート前に、会場案内に従ってトランジションエリアの外周通路に横2名の列を作って並び、スタート以降は、列の前進に合わせて待機する選手が列の最後尾に加わっていくようにする。※詳細の運用方法はPO10の「スイム競技時の対応」を参照。
- 04：各選手の計測開始は、スタートの計測マットを通過してからとなるため、並び順番の前後が記録・順位に影響を及ぼすことはないので慌てずに整列すること。
- 05：バイク乗車ラインは、スタートの計測マットの約40m先にあるため、スタート後すぐに乗車せず、乗車ラインまでバイクを押して進むこと。

◆スイム時における「レスチューブ」の装着に関するローカルルール

本大会では、スイム競技時に膨張式緊急浮力体（以下「レスチューブ」という）の装着について、下記ルールを適用する。

- 01：ウェットスーツのほか安全を自分で守るための用具となる。泳力に自信がないままでスタートすることがないように十分に練習に励んで大会に参加すること。
- 02：心身の安全に不安を感じたら競技の継続にこだわることなく躊躇せずに使用すること。なお、器具の使用に係る固有の事故等について、主催者は責任を負わない。
- 03：スイム入水時までに装着を完了しておくこと。
- 04：装着しても使用しなかった場合は、装着しない場合と区別せずに計測・順位の記録を行う。
- 05：使用した（膨張させた）場合には、以降のレースを継続することはできない。可能であれば自力もしくは救助チームのサポートを受けて上陸すること。上陸後は審判員の指示に従うこと。



レスチューブの例



詳しくは web にて確認してください。 www.restube-jpn.com

◆トランジション

- 01：選手・スタッフ以外はトランジションエリアへ立ち入りできない。
- 02：トランジションエリア入場の際、ヘルメットのストラップを緩みのないよう調整しておくこと。ストラップの状況を含めヘルメットチェックを実施する。
- 03：バイクラックにレースナンバーが記してあるので、決められた自身のエリアのみ使用すること。
- 04：バイクはバイクラックのレースナンバーが見える方にハンドル側を向けて設置すること。向きが違う場合はペナルティ対象となる。
- 05：トランジションエリアへは、競技と直接関係ない物（クーラーボックス等）の持ち込みはできない。審判員が発見した場合はこれを撤去することができる。ペナルティの対象となることもある。
- 06：7時25分からバイク競技終了まではトランジションエリアを閉鎖する。バイクと競技用具の引き取り時間はおおよそ 12 時 00 分頃とする。盗難防止のため、ボディナンバー及バイクレースナンバーシールを照合して引き渡しを行う。
- 07：トランジションエリア内でバイクに乗車した場合、ペナルティの対象になることもある。
- 08：トランジションエリア内は細かい砂利敷となる。※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任の下利用すること。
- 09：バイク開始時では、ラックからバイクを取り外す前にヘルメットを装着・ロックをかけ、バイク終了時ではバイクをラックにかけて手放すまでヘルメットのロック機構に触れてはならない。

◆バイク競技

- 01：バイクはフリーホイール式で前後ブレーキを装着したロードレーサー（フルホーンハンドル仕様の TT バイク含む）を基本とする。特に安全性が認められないバイクは、大会組織委員会が判断して参加を認めない場合がある。
- 02：エアロバー（DH バー・クリップオンバー）の装着、後輪のディスクホイールの使用は可能とする。
- 03：サイクルコンピューター（走行距離計測器）装着を推奨する。
- 04：バイクのスタンド・泥除け・ミラー・ライト等は予め外しておくこと。
- 05：ヘルメットは安全基準を満たした硬質のものを正しく着用する。エアロタイプのヘルメットも使用可能。改造、ひび割れ、古いタイプのヘルメットの使用は認めない。
- 06：レースナンバーをヘルメット前面、バイク左側にレースナンバーが確認できるように、バイクフレームもしくはシートピラー等に貼りつけること。
- 07：バイクコースは完全交通規制だが、選手は常に危険回避義務があり、前方及び路面状況にも十分注意する。緊急車両走行時は減速し、左側を徐行。または指示に従い停止すること。いかなる場合でも緊急車両の追い越しは禁止とする。
- 08：走行中は常に自己の安全速度を守る。特にキープレフトを順守し、お互いのドラフトゾーン確保及びブロッキング禁止を順守する。追い越しは後方を確認し、声をかけて右側を追い越すこととし、視界の悪いコーナーでの追い越しは禁止する。また、追い越される選手は走行ラインを変更しない。
- 09：バイクコースの特性を加味し、追い越し時の接触や事故の責務は、常に追い越す選手に科す。
- 10：バイクコース上にはエイドステーションを設けないため、バイクボトルを携行し水分補給を行うこと（2本推奨）。ペットボトルの携行は禁止とする。
- 11：ドラフティングは禁止とするが、選手が密集した場合等ドラフトゾーン確保が困難な場合、ドラフトゾーンへの故意でない進入については考慮する。ドラフトゾーンは、バイクの前輪の最前部を起点として後方 10m の範囲とする。
- 12：不可抗力以外の反対車線へのはみ出しを禁止とする。
- 13：バイクコースは志賀島を 4 周回とする。アンクルバンドによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、周回管理は、走行距離計測器により各自で管理すること。周回数を間違えた場合は、バイクコースの逆走は禁止とし、順方向に走行してバイクフィニッシュに向かうこと。なお、周回数が少ない場合は DNF となる。
- 14：バイクコースで落下物回収のために停車・逆走することを禁止する。落下物は審判員または大会スタッフが回収し、競技終了後に大会本部にて受け取る。なお、落下物の破損・紛失について主催者は一切責任を負わない。
- 15：バイクの乗車は、片足がバイク乗車ラインを越えたあとに、完全に片足が地面に着いてから乗車すること。（ペナルティ対象）
- 16：バイクの降車は、バイク 降車ライン手前の地面に、片足が完全に着いてから降車すること。（ペナルティ対象）
- 17：コースの特性上、一部区間で選手の並走・合流が生じることから、危険区間として「減速」「追い越し注意」等を義務付ける（※詳細は『危険箇所』参照）。安全確保のためには規制の遵守が必須となるため、対象区間での規制不履行については「ドラフティング違反同等」のペナルティを課す。
- 18：トランジションエリアからバイク乗車ラインまでの間の動線上は一部砂利道となるため、バイクシューズ等を履いて移動することを推奨する。
- 19：バイクの乗車姿勢はブレーキをかけられる状態でハンドルを握ることを基本とする。但し、エアロバーを装着した状態でパッドに前腕や肘を置きエアロバーを手で握ることは可能とする。
- 20：サドルに接触するのはお尻のみとする。お尻をサドルの前方に持ってきたり、サドルの後方に引いてサドルの上に胸を当てることは禁止する。但し、ダンシング等で腰をサドルの上に浮かすことは可能とする。

◆ラン競技

- 01：ランコースは完全交通規制されていない。交通規則を遵守し、公衆（観客・通行人）に十分注意する。
- 02：走行はキープレフトを順守し、コース幅の狭いところは前方及び対向の選手に十分注意して互いに安全な走行を心がけること。
- 03：ランは、志賀島漁港内を 5 周回とする。計測チップによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、周回管理のサポートとして、「輪ゴム受渡しエリア」を設置する。通過するたびに輪ゴムを 1 本受け取り手首に付けること。5 本付けている状態でフィニッシュとなる。
- 04：エイドステーションは 1 周に 2 箇所あり、ラン競技中合計 10 回通過するので適宜水分補給をすること。第三者によるエイドステーション以外における飲み物等の提供は認めない（ただし、緊急時は除く）。
- 05：ランコース上には、ペナルティボックスを設置する。対象となる選手のレースナンバーが掲示されるので、最終周回までにはペナルティボックスに入り審判員の指示のもとタイムペナルティを受けること。対象となる選手がペナルティボックスに入らなかった場合は失格とする。

◆フィニッシュ

- 01：フィニッシュ後、アンクルバンドを自身で取外し、返却箱に入れること。
- 02：周回管理用の輪ゴムは各自で処分すること。
- 03：フィニッシャータオル・給水を自身で受け取ること。
- 04：フィニッシュエリア付近の混雑を避けるため、支給物受け取り後はスイム会場の海水浴場に向かうこと。
- 04：同伴フィニッシュは選手・観客等の安全面を考慮し禁止とする。同伴した場合は失格とする場合がある。

◆制限時間

当大会では、交通規制による地域住民の負担軽減から以下の通り制限時間を設定する。

●スイム

制限時間 8：39 ※最終組のスタート時間（7：49）から 50 分後

- ・制限時間までにスイムフィニッシュ計測を通過できなければ DNF となり、次のバイク競技へ進むことはできない。
- ・制限時間前にスイムフィニッシュ計測を通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 50 分を超過していた場合は DNF となる。

●バイク

制限時間① 8：54（スイム制限時間 + 15 分）

- ・制限時間までにバイクスタート計測を通過しなければ DNF となり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできない。

制限時間② 10：20（志賀島入口計測）

- ・制限時間までに通過できなかった場合
⇒その場で DNF となる。バイクを降りて大会本部まで戻ること。
- ・制限時間までに通過できた場合
⇒10：20 から志賀公民館付近より進行方向に向かって島を一周する「資機材回収指示車両」を運行する。該当車両に追い越された時点で DNF となる。DNF となった場合は、一般交通ルールに従って大会本部まで戻ること。

●ラン

制限時間 12：19 ※最終組のスタート時間（7：49）から 4 時間 30 分後

- ・制限時間までにフィニッシュゲートを通過できなければ DNF となる。競技記録は計測されるが、順位はつかない。
- ・制限時間までにフィニッシュゲートを通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 4 時間 30 分を超過していた場合は DNF となる。

※上記の制限時間に通過できずに DNF となった場合、および記録集計後に DNF となった場合は「完走」とならないため、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。

◆罰則（ペナルティ）

- 01：全競技を通じて、審判員からペナルティを適用すると指摘された選手は、ランコース上に設置されたペナルティボックスで、フィニッシュの前までにタイムペナルティを受けること。タイムペナルティを受けない場合は失格となる。
- 02：ドラフティング・ブロッキングのタイムペナルティは 2 分、その他の違反は 15 秒を基本とする。

◆抗議

- 01：選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、または自らの違反について、審議委員会に抗議を申し立てることができる。ただし、ドラフティング・ブロッキング・暴言等スポーツマン精神に反する言動についての抗議は受け入れられない。
- 02：競技者又は審判長は、審議委員会の裁定に対してなお不服な時は、FTU 理事会に上訴を申し立てることができる。また、更なる不服申し立ては「スポーツ仲裁規則」に従い解決する。
- 03：審議委員会は、大会技術代表、主催者、FTU 代表の 3 名で構成され、抗議については速やかに対処する。
- 04：抗議の申請は大会本部を窓口とし、競技者氏名・レースナンバー・抗議内容を確認した後審議委員会を招集する。
- 05：抗議は次の期限までに行わなければならない。
 - ・コースに関する抗議：競技開始 24 時間前まで
 - ・競技中に審判員から受けた判定・言動又は他の競技者の言動に対する抗議：抗議者のフィニッシュ後 60 分以内
 - ・他の競技者の競技用具に関する抗議：抗議者のフィニッシュ後 30 分以内
 - ・記録及び計時に関する抗議：公式記録の発表後 14 日以内

◆棄権

- 01：競技途中に棄権する場合は、必ず審判員またはスタッフに棄権の意思を通告すること。棄権の通告がなかった場合、競技終了後も捜索が続くこととなる。スムーズな大会運営のために、必ず棄権通告を実施すること。
- 02：競技を棄権する際は、レースナンバー・アンクルバンドを外し、審判員に返却すること。

◆参加費返金

- 01：エントリー後の返金は原則として行わない。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大等の理由により大会が中止となった場合は、それまでに要した準備費用など勘案の上、別途通知することとする。

◆肖像権

- 01：大会に関する肖像権は主催者に帰属する。
- 02：入手した個人情報は、個人情報の保護に適用される法令を遵守し、大会に関する情報の通知手段として使用する以外は、本人の承諾がない限りは使用しない。

6月25日(日) 大会当日のスケジュール

時間	内容	必要事項	注意事項
5:00～6:30	大会会場入り	A・B・C：選手向け駐車場エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用希望者には事前郵送物の中に駐車券を同封します。当日は必ず持参し、指定の駐車場に向かってください。 ・駐車場では誘導員の指示に従い、できるだけ詰めて駐車するようお願いいたします。
5:30～7:00	受付	志賀公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・事前郵送物に同梱されている「出場許可証」を必ず持参してください。 ・健康チェック&競技規則確認シートは必ず前日 16:00 までに送信を終えてください。 ・受付窓口：参記念 T シャツ等の支給物を受け取ります。
5:30～	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・スイム会場となる砂浜にある海の家を、更衣室・荷物置場として開放します。 ※男性：「さばらし」「福助」 女性：「丸良」 ・荷物には、事前郵送物に同梱されている「トランジションバッグ」に入れ、「トランジションバッグ用レースナンバーシール」を貼ってください。 ・荷物受け取り時は、レースナンバーの確認を行います。
5:30～オープン ～7:25 クローズ	トランジションエリアオープン トランジションエリアクローズ ※ピックアップ予定 12:00～	トランジションエリア (志賀島漁港駐車場)	<ul style="list-style-type: none"> ・入口にてレースナンバー、ヘルメットの確認を行います。 ・自転車の向きを間違えないようにしましょう。 ・スイム上陸～トランジションエリア、トランジションエリア内は砂利敷部分があります。スイム上陸部に「はきもの置場」を設けますので自己管理の上で利用してください。
6:40～7:20	アンクルバンド受渡し	スイムエリア (志賀島海水浴場) ※スイム計測テント付近	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムエリアに入ったらまずアンクルバンドを受け取り装着してください。 ・アンクルバンドは装着したらフィニッシュまで外さないようにしてください。
6:40～7:20	試泳	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・水温に慣れるためにも試泳をおすすめします。 ・7:20 までには試泳は終了し、入水チェックを受けて待機エリアに集まってください。
6:45～7:25	スイム入水チェック	スイムエリア (志賀島海水浴場) ※スイム計測地点	<ul style="list-style-type: none"> ・入水チェックの際は必ずアンクルバンドを装着してください。 ・入水チェックはスイム計測マットと同じです。必ず一度通過してから待機に移るようにしてください。 ・一度通過したあとはスタートまで通過しないようにしてください。また、スイムエリアから離れることがないようにしてください。
7:30～	開会式	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な開会式を行います。 ・開会式終了後、最初のスタートグループ (赤) はスタートライン付近に移動して下さい。
7:30～	交通規制開始	志賀島外周道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ここから交通規制解除までの間、地域住民の方々の移動が制限されます。走れることに感謝して思い切り走りましょう。

時間	内容	必要事項	注意事項
7:45 ~ 7:49	レーススタート	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェーブスタート方式とします。(1 ウェーブ 80 名、1 分間隔) ・スタート直後のバトルに巻き込まれないようご自身の泳力に合わせた位置でスタートしてください。
8:30	スイムスキップリスタート	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・「スイムスタート前」に申告する場合に限りスイムスキップを認めます。 ・スイムスキップをする場合は、7:30 までにスイム会場に配置された審判員にレースナンバーとスイムスキップの意思を伝えてください。 ・スイムスキップをした選手は「スイムスキップリスタート位置」から 8 時 30 分に一齐にリスタートします。
8:39	スイム制限時間	スイムエリア スイムフィニッシュ計測地点	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間までに通過できなければ DNF となり、次のバイク競技へ進むことはできません。 ・制限時間前に通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 50 分を超過していた場合は DNF となります。
8:54	バイクスタート制限時間	トランジションエリア バイクスタート計測地点	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間までに通過しなければ DNF となり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできません。
10:20	バイク制限時間	志賀島入口計測地点	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間までに通過できなかった場合は、その場で DNF となります。バイクを降りて大会本部まで戻ってください。 ・制限時間までに通過できた場合でも、10:20 から志賀公民館付近より進行方向に向かって島を一周する「資機材回収指示車両」に追い越された時点で DNF となります。DNF となった場合は、一般交通ルールに従って大会本部まで戻ってください。
~ 11:00	交通規制解除	志賀島外周道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々の負担をできるだけ軽くするためにも、スムーズな競技進行にご協力ください。
12:19	ラン制限時間	フィニッシュゲート (志賀島漁港)	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間までに通過できなければ DNF となります。 ・制限時間までに通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 4 時間 30 分を超過していた場合は DNF となります。
	フィニッシュ後	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンクルバンドは自身で取外して返却箱に入れてください。 ・周回管理用の輪ゴムは各自で処分してください。 ・フィニッシャータオル・給水を受け取ってください。 ・フィニッシュエリア付近の混雑を避けるため、支給物受け取り後はスイム会場の海水浴場に向かってください。 ・スイム会場にある各海の家ではシャワーがご利用いただけます。ただし有料 (¥500) となります。海の家近くでシャワーチケットを販売いたしますのでご利用の際はご購入ください。
12:25	表彰・閉会式	スイムエリア (志賀島海水浴場)	

トランジションエリア ⇒ 選手受付 ⇒ スイム会場



海水浴場部詳細





※注意※
安全確保のためには規制の遵守が必須となるため、対象区間での規制不履行については「ドラフティング違反同等」のペナルティを課す。

駐車場のご利用は事前申し込みの方のみご利用できます。

お車は **6:30** までに**駐車**してください。

※ 7:30 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30 ~ 7:00 のため、6:30 までにはお越しください。

駐車証

選手専用駐車場

*駐車場 C→B→A の順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

駐車場入場時間 5:00~6:30

※7:30 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30~7:00 のため、6:30 までにはお越しください。
 ※交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。
 ※事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行（レース以外）はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。
 ※駐車場で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。※本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。
 ※本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。
 ※交通規制の解除（11:00 頃）までは駐車したお車の移動はできません。

【選手駐車場 & 受付 周辺拡大地図】



駐車場 C → B → A の順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

※ 7:30 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30 ~ 7:00 のため、6:30 までにはお越しください。

※ 交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。

※ 事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行（レース以外）はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。

※ 駐車場で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。※本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。

※ 本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。

※ 交通規制の解除（11:00 頃）までは駐車したお車の移動はできません。

スタートリスト①



FUKUOKA TRIATHLON 2023

JAPAN TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
101	新井 依央理	19	福岡
102	関 隼人	19	長崎
103	大和田 知樹	19	広島
104	上岡 大悟	19	福岡
105	中原 諒二	19	長崎
106	西浜 弒真	19	福岡
201	原田 姫奈	21	福岡
202	井上 菜津子	22	福岡
203	大崎 有紗	23	福岡
211	長 蓮成	20	熊本
212	井上 滉基	20	福岡
213	大澤 芳悠	20	長崎
214	秋山 陽汰	20	広島
215	久保 航貴	20	福岡
216	石河 誉章	20	福岡
217	M	20	福岡
218	原 雄亮	20	福岡
219	馬場 啓匠	21	福岡
220	穂森 光稀	21	福岡
221	福島 稜大	22	福岡
222	石崎 陽来	22	福岡
223	井上 能雅	22	岐阜
224	松下 幸助	22	長崎
225	岡田 浩宜	22	福岡
226	牟田 博貴	22	福岡
227	末吉 秀旭	23	福岡
228	井上 雅	23	長崎
229	益田 大誠	23	福岡
230	アレンワイアット	23	長崎
231	藤原 直生	23	福岡
232	原口 大空	24	京都
233	後藤 稜平	24	福岡
234	稲角 壘	24	福岡
204	鯉沼 かの	25	東京
205	天神 沙也佳	25	東京
206	津守 響子	26	福岡
207	平山 基子	26	福岡
208	深野 由佳	28	福岡
209	石原 妹	29	神奈川
210	玉木 友里絵	29	三重
235	H	25	福岡

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
236	平嶋 颯太	26	福岡
237	浅田 光陽	26	福岡
238	坂山 智哉	26	福岡
239	合庭 俊二	27	福岡
240	山口 和也	27	熊本
241	湊 隆文	27	福岡
242	前川 大樹	27	福岡
243	深野 雄大	28	福岡
244	清水 慎一	28	千葉
245	井上 惇之	28	福岡
246	坂口 恭平	28	福岡
247	佐々木 稔	28	熊本
248	大箭 周平	28	新潟
249	春山 太作	28	福岡
250	澤野 太暉	29	東京
251	中林 航大	29	福岡
252	下田 駿平	29	福岡
253	永尾 智也	29	福岡
254	山田 晃平	29	東京
301	一松 菜央	30	鹿児島
302	薬師 かれん	30	鹿児島
303	増田 宏美	31	神奈川
304	小林 尚子	32	東京
305	岩下 香奈	32	福岡
306	山岡 道子	34	福岡
313	坂口 諒輔	30	福岡
314	早崎 悠揮	30	東京
315	高畑 遥	30	福岡
316	多田 優輝	30	山口
317	大上 諒	30	東京
318	松本 新太郎	30	福岡
319	鮫嶋 浩生	31	鹿児島
320	竹川 博	31	佐賀
321	小松 真也	31	佐賀
322	北村 尚紀	31	東京
323	原 慎太郎	31	福岡
324	藤井 裕真	32	千葉
325	Jankowski Adrian	32	鹿児島
326	柴田 雄太	32	福岡
327	伊藤 史晃	32	福岡
328	樋口 隆広	33	東京

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
329	都築 啓一	33	愛知
330	森 信也	33	佐賀
331	西村 栄治	33	山口
332	一戸 健人	33	北海道
333	小松 健太	34	佐賀
334	西原 和宏	34	福岡
335	末永 幸洋	34	福岡
336	宮内 知也	34	福岡
337	砂原 拓也	34	福岡
338	齋藤 隆一	34	福岡
307	越海 ニコール	35	大分
308	福島 弥生	36	福岡
309	内藤 恵梨	36	長崎
310	河田 真奈	37	福岡
311	大西 麻希	39	千葉
312	大櫃 菜津子	39	福岡
339	米倉 亮太	35	福岡
340	真清 高志	35	山口
341	中尾 宇志	35	福岡
342	谷口 滋彦	36	大阪
343	芝崎 僚	36	鳥取
344	中嶋 大悟	36	東京
345	海辺 義一	36	福岡
346	中原 誠	36	福岡
347	浅田 晃輔	37	福岡
348	木村 佑太	37	福岡
349	ウムラウトトム	37	大分
350	仁井 啓介	37	福岡
351	成富 洋介	37	福岡
352	糸満 尚貴	37	大分
353	トールフェルナント	37	東京
354	岡村 祐	37	福岡
355	山田 啓	37	福岡
356	小田 晃司	37	福岡
357	福田 将人	38	福岡
358	岩下 隼人	38	福岡
359	楠 直人	38	神奈川
360	江口 紹修	38	長崎
361	草場 昂	38	福岡
362	金久保 宏旭	38	石川
363	景山 敏直	38	神奈川



スタートリスト②



FUKUOKA TRIATHLON 2023

JAPAN TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
364	田中 智久	39	福岡
365	吉竹 陽介	39	佐賀
366	庄寄 正裕	39	福岡
367	伊藤 宏太	39	福岡
368	小田 貴文	39	大阪
369	浜口 恵	39	東京
370	吉田 俊介	39	福岡
371	山崎 陽	39	熊本
372	青木 亮太	39	福岡
373	渥美 雄三	39	東京
374	永津 智彦	39	福岡
375	崔 鍾賢	39	福岡
376	小倉 雄夢	39	福岡
401	田中 悠海	41	福島
402	戸田 真世	42	山口
403	西 亜紀子	42	東京
404	五味 明子	42	福岡
405	八木 恭子	43	佐賀
406	白川 陽子	44	福岡
407	下田 しおり	44	福岡
408	城田 全江	44	福岡
409	梅田 裕也	40	沖縄
410	松山 将太	40	兵庫
411	千葉 拓也	40	東京
412	惣司 真乃祐	40	長崎
413	金堀 裕輔	40	神奈川
414	高木 建之介	40	福岡
415	仲信 達也	40	福岡
416	垣花 勝	40	福岡
417	厚見 行正	40	石川
418	新 洋平	40	福岡
419	坂本 亮	41	福岡
420	玉野井 宏和	41	福岡
421	佐伯 琢也	41	佐賀
422	村山 直充	41	福岡
423	池 史宏	41	鹿児島
424	小村 真孝	41	福岡
425	児島 永	41	福岡
426	脇元 隆次	41	福岡
427	門司 聖	42	福岡
428	松山 奨	42	東京

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
429	河野 雄三	42	東京
430	小野 忠相	42	福岡
431	西野 貢平	42	石川
432	横山 大輔	42	東京
433	岩井 大輔	42	東京
434	中山 周一郎	42	東京
435	丸岡 浩人	42	福岡
436	新井 裕明	42	福岡
437	松林 高紀	42	福岡
438	寺本 昌弘	42	福岡
439	佐藤 哲也	42	静岡
440	目原 宏輝	43	福岡
441	松本 尚也	43	東京
442	西 理広	43	東京
443	三上 和芳	43	東京
444	佐伯 卓也	43	東京
445	上田 崇	43	福岡
446	野田 浩輝	43	佐賀
447	世利 祐一郎	43	福岡
448	土田 洋平	44	岐阜
449	竹下 茂雄	44	東京
450	横山 大介	44	東京
451	塚本 泰一	44	佐賀
452	田原 健一	44	福岡
453	石井 教史	44	福岡
454	岩隈 剛士	44	福岡
455	伏見 浩幸	44	佐賀
456	田中 崇夫	44	福岡
801	酒田 藍子	45	大阪
802	三浦 真理子	46	福岡
803	足立 雅子	47	鳥取
804	中村 奈緒子	47	福岡
805	岡本 和也	45	佐賀
806	瀧本 康介	45	福岡
807	永瀬 達也	45	東京
808	村松 直樹	45	福岡
809	藤崎 一峰	45	福岡
810	小林 知樹	45	福岡
811	佐々木 周	45	東京
812	石丸 将義	45	山口
813	舟川 智也	45	福岡

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
814	納富 貞嘉	45	福岡
815	田代 雅人	45	福岡
816	松尾 俊治	45	福岡
817	広本 成志	46	山口
818	星野尾 憲司	46	東京
819	出来 大輔	46	山口
820	椎山 孝洋	46	福岡
821	森 千尋	46	福岡
822	古田 英俊	46	大分
823	金 亨祐	46	東京
824	沢田 寿晴	46	北海道
825	齋藤 孝司	46	愛知
826	平田 和也	46	熊本
827	森上 智	47	福岡
828	龍田 信一	47	兵庫
829	大谷 賢聡	47	大分
830	高橋 英樹	47	福岡
831	藤澤 陽三	47	東京
832	末松 士	47	福岡
833	板垣 久	47	福岡
834	木部 匡之	48	福岡
835	岡本 利明	48	福岡
836	首藤 真	48	福岡
837	今井 基次	48	東京
838	宇都 克博	48	鹿児島
839	三浦 正道	48	福岡
840	川越 勝仁	48	鹿児島
841	加世田 和博	48	鹿児島
842	草野 将	48	福岡
843	崎山 庫志	48	福岡
844	若松 正臣	48	鹿児島
845	野田 慎一郎	49	福岡
846	後藤 義和	49	福岡
847	井上 義彦	49	福岡
848	富永 大介	49	佐賀
849	許斐 智夫	49	福岡
850	唐木 誠	49	福岡
851	堤 英将	49	福岡
852	生田 晃二	49	福岡
853	田中学	49	福岡
854	谷口 智章	49	福岡



スタートリスト③



FUKUOKA
TRIATHLON 2023

JAPAN
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
501	久野 奈穂子	50	愛知
502	塩川 由美	51	大阪
503	大野 享子	51	沖縄
504	坂本 和美	51	福岡
505	田島 直美	52	熊本
506	浅野 綾子	53	岡山
507	秋元 将志	50	福岡
508	富田 英明	50	福岡
509	福島 良一	50	鳥取
510	能瀬 万里雄	50	福岡
511	築地原 宏治	50	鹿児島
512	林 剛	50	熊本
513	矢野 耕二	50	福岡
514	北嶋 禎治	50	福岡
515	藤原 昭宏	50	山口
516	増田 修	50	福岡
517	芹田 章博	50	福岡
518	河野 逸郎	50	福岡
519	中原 和浩	50	福岡
520	井上 剛典	50	岐阜
521	早田 卓司	50	福岡
522	橋田 義尊	50	福岡
523	福元 テツロー	51	広島
524	山本 英永	51	神奈川
525	井手 善彦	51	長崎
526	安達 知誠	51	長崎
527	吉武 太志	51	福岡
528	古賀 崇司	51	福岡
529	黒山 剛	51	福岡
530	白水 威彦	51	千葉
531	山田 康一郎	51	福岡
532	有光 北斗	51	福岡
533	穴井 隆二	51	熊本
534	喜多 秀樹	51	福岡
535	福田 滋	51	愛知
536	西村 久徳	51	福岡
537	河上 恵典	51	長崎
538	沖原 昌幸	51	福岡
539	丸山 誠	52	鳥取
540	阿部 知史	52	沖縄
541	杉山 英輝	52	神奈川

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
542	末松 敏和	52	福岡
543	東郷 和彦	52	鹿児島
544	田中 範弘	52	広島
545	村上 幸男	52	長崎
546	平山 貴浩	52	福岡
547	横山 洋	52	福岡
548	山根 啓	52	神奈川
549	東岡 芳幸	52	福岡
550	坂本 栄治	52	東京
551	桑原 貴洋	52	佐賀
552	今里 光佐	52	福岡
553	高田 雄一郎	52	福岡
554	高倉 秀穂	53	東京
555	大嶋 豪	53	山口
556	山田 真理男	53	神奈川
557	穴田 慎次郎	53	佐賀
558	石井 成一郎	53	福岡
559	末益 誠	53	福岡
560	高松 一郎	53	福岡
561	矢瀧 敬三	53	鳥取
562	浜田 綱太郎	53	福岡
563	川内 佳司	54	福岡
564	森岡 克洋	54	山口
565	西村 宣久	54	福岡
901	西口 明子	59	福岡
902	恵良 奈緒美	59	山口
903	亀山 智之	55	広島
904	中嶋 傑	55	福岡
905	江越 啓一郎	55	福岡
906	中村 浩二	55	東京
907	朝武 康臣	55	東京
908	宮崎 幸宏	55	福岡
909	齊藤 敬	55	福岡
910	伊藤 康行	55	熊本
911	田中 靖浩	55	佐賀
912	高橋 泰夫	56	岡山
913	龍頭 正浩	56	福岡
914	上田 潤一	56	福岡
915	小森 研一	56	長崎
916	福井 濃	56	福岡
917	上林 肇	56	東京

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
918	北垣 徹	56	兵庫
919	菅 道文	56	福岡
920	古跡 寛	57	山口
921	愛甲 隆昭	57	鹿児島
922	西出 裕輔	57	福岡
923	森 広志	57	福岡
924	末吉 衛	57	沖縄
925	江口 和徳	58	佐賀
926	城田 正俊	58	福岡
927	岡本 泰宜	58	愛知
928	尾崎 善一郎	58	佐賀
929	山川 雅之	59	東京
930	江本 玄	59	福岡
931	清水 俊郎	59	福岡
932	田中 孝一	59	山口
933	福岡 剛	59	福岡
934	本田 龍紫郎	59	福岡
935	三浦 健一	59	茨城
601	松下 豊美	61	福岡
602	茨田 二三夫	60	広島
603	小菅 猛	60	神奈川
604	森上 健	60	福岡
605	千々和 崇	60	福岡
606	小森谷 功	60	神奈川
607	中村 雅和	60	福岡
608	小川 晃範	60	岡山
609	塩崎 真治	60	福岡
610	平田 一雄	60	佐賀
611	石河 勲	60	福岡
612	岡 雅司	60	福岡
613	西田 真人	61	福岡
614	岩本 正三	61	福岡
615	村瀬 秀也	61	千葉
616	Yamaguchi Ferdinand	61	東京
617	木村 昌幹	61	福岡
618	上野 一浩	61	山口
619	坂山 一之	61	岡山
620	谷口 一郎	61	福岡
621	植松 弘至	61	奈良
622	浦山 信彰	61	長崎
623	新宮 瑞夫	62	鳥根



FUKUOKA TRIATHLON 2023

JAPAN
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

スタートリスト④



FUKUOKA
TRIATHLON 2023

JAPAN
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
624	酒井 隆博	62	兵庫
625	木村 憲治	62	福岡
626	瀬戸 茂男	62	大阪
627	高木 英久	62	長崎
628	河村 政勝	63	山口
629	中條 雅史	63	千葉
630	高橋 徹	64	福岡
631	片岡 宏介	65	福岡
632	川島 知之	65	宮崎
633	東 洋志	65	鹿児島
634	樋口 明彦	65	福岡
635	土師 弘幸	65	東京
636	江浦 俊文	66	熊本
637	内田 哲	66	福岡
638	若木 一郎	66	鳥取
639	岡丸 正典	66	広島
640	品野 俊治	67	福岡
641	竹中 嘉文	67	福岡
642	毛利 力	68	山口
643	稲岡 潤	68	長崎
644	上田 智	69	福岡
701	井上 富紀子	72	岐阜
702	原田 英介	70	熊本
703	渡邊 信介	70	福岡
704	林 太郎	70	東京
705	平田 清巳	70	福岡
706	山道 和樹	72	福岡
707	吉田 達郎	72	福岡
708	田中 啓司	73	福岡
709	下平 譲二	73	福岡
710	出口 秀吉	75	福岡
711	湊 昭夫	75	山口
712	白石 直敏	75	福岡
713	中西 啓一	75	岡山



thanks to all sponsor & partners

GOLD SPONSER



PARKOUR SCHOOL

SILVER SPONSORS



BRONZE SPONSORS



OFFICIAL MEDICAL SPONSOR



Fukuoka

STANDARD SPONSORS



BOOTH SPONSORS



MECHANIC SPONSORS



SPECIAL THANKS

Thank you for everything